

募集人員

リベラルアーツ学群	グローバル・コミュニケーション学群	ビジネスマネジメント学群 フライト・オペレーションコース除く	健康福祉学群	芸術文化学群
50人以内	31人以内	49人以内	10人以内	10人以内

出願条件

選抜方式	外国籍を有する者(日本の在留資格が「永住者」「定住者」は除く)で、2019年3月31日までに18歳以上に達しており、次の①～③のいずれかに該当する者。
留学生入学者特別選抜	<p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(修了見込みの者を含む)。</p> <p>②その国の大学入学資格(アビトゥア、国際バカロレア等)を有する者。</p> <p>③本学において上記①～②と同程度の資格を有すると認定された者。</p> <p>※日本にある高等学校(中等教育学校を含む)、またはこれに準ずる学校の卒業生(卒業見込み)も出願可。</p>

日程

日 程	第1回 [A・B 方式、私費留学生奨学生]	第2回 [A・B 方式]
出願登録(インターネット出願)	10/15(月)～10/22(月) 最終日は正午(12時)まで	11/30(金)～12/6(木) 最終日は正午(12時)まで
検定料支払	10/22(月)	12/6(木)
	出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。出願登録後、お早めに検定料をお支払いください。	
出願書類提出期限	10/22(月)消印有効	12/6(木)消印有効
デジタル受験票発行開始日	11/9(金)15時から順次発行	12/20(木)15時から順次発行
試験日	11/17(土)	1/12(土)
合格発表日	11/26(月)	1/16(水)
入学手続締切日	12/5(水)一括納入	2/1(金)一括納入

私費留学生奨学生選抜

留学生を対象とした奨学生選抜です。

本選抜の合格者は最大4年間、

各学期の授業料が50%減免されます。

学期ごとに、奨学生としての資格の継続審査があります。

●奨学金申請の前提条件

下記の①～④すべての前提条件を満たすこと。

- ①「留学」の在留資格を有していること。
- ②仕送り金額(学納金分の金額を除く)が、平均月額90,000円以下であること。
- ③在日している扶養者がいる場合、その年間所得が、独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金の収入基準額以下であること。
<http://www.jasso.go.jp/saiyou/daigaku.html>
- ④年額10万円以上の他の学内奨学金及び文部科学省外国人留学生学習奨励費と同額以上の他団体奨学金との併給は不可。
受給中は、文部科学省外国人留学生学習奨励費の申請はできません。

●私費留学生奨学生選抜の合格について

合格には「奨学生として合格」「奨学生の対象でない合格」の2種類があります。いずれも入学手続きを行うか否かは任意です。



- 2019年度より、募集人員が増えました。
- 2019年度より、A方式が「日本留学試験(EJU)」の「日本語」のみで出願できるようになりました。

選抜方法・試験科目

合否判定は、各方式において実施する試験科目による総合評価で行います。

LA BM 健福 芸文

選抜方式	選抜方法	本学における筆記試験
A方式	対象:以下の(独)日本学生支援機構(JASSO)による「日本留学試験(EJU)」の「日本語」を受験している者 第1回:2017年11月、2018年6月のいずれかの「日本留学試験(EJU)」の「日本語」の試験 第2回:2018年6月、2018年11月のいずれかの「日本留学試験(EJU)」の「日本語」の試験 【書類審査 + 面接 ^{※1} 】	なし
B方式	対象:(独)日本学生支援機構(JASSO)による「日本留学試験(EJU)」を受験していない者、もしくは「日本留学試験(EJU)」の成績を利用しない者 【書類審査 + 面接 ^{※1} + 筆記試験】	日本語テスト (小論文含む総合問題)
私費留学生奨学生選抜	対象:(独)日本学生支援機構(JASSO)による「日本留学試験(EJU)」を受験している者で、「日本語」 ^{※2} が230点以上(400点満点)であること。 【書類審査 + 面接 ^{※1} + 筆記試験】	日本語テスト (小論文含む総合問題)

※1 芸文学群の審査方法はP.03を確認してください。

※2 日本語は聴解・聴読解・読解の合計(記述は除く)

GC

選抜方式	選抜方法	本学における筆記試験
A方式(J)	対象:以下の(独)日本学生支援機構(JASSO)による「日本留学試験(EJU)」の「日本語」を受験している者 第1回:2017年11月、2018年6月のいずれかの「日本留学試験」の「日本語」の試験 第2回:2018年6月、2018年11月のいずれかの「日本留学試験」の「日本語」の試験 【書類審査 + 面接 ^{※1} 】	なし
B方式(J)	対象:(独)日本学生支援機構(JASSO)による「日本留学試験(EJU)」を受験していない者、もしくは「日本留学試験(EJU)」の成績を利用しない者 【書類審査 + 面接 ^{※1} + 筆記試験】	日本語テスト (小論文含む総合問題)
A方式(E)	対象:以下のいずれかの英語スコアを有する者 【書類審査 + 面接 ^{※1} 】 TOEFL iBT [®] 48点、TOEIC [®] L&R 500点、IELTS [™] 4.5	なし
B方式(E)	対象:A方式(E)の英語スコアを有していない者 【書類審査 + 面接 ^{※1} + 筆記試験】	英語テスト (小論文)
私費留学生奨学生選抜	対象:(独)日本学生支援機構(JASSO)による「日本留学試験(EJU)」を受験している者で、「日本語」 ^{※2} が230点以上(400点満点)であること。 【書類審査 + 面接 ^{※1} + 筆記試験】	日本語テスト (小論文含む総合問題)
	対象:以下のいずれかの英語スコアを有する者 【書類審査 + 面接 ^{※1} + 筆記試験】 TOEFL iBT [®] 61点、TOEIC [®] L&R 600点、IELTS [™] 5.5	英語テスト (小論文)

※1 GC学群の面接方法はP.04を確認してください。

※2 日本語は聴解・聴読解・読解の合計(記述は除く)

(J):「日本留学試験(EJU)」または本学での日本語テストなど、出願・選抜にあたり日本語(Japanese)の試験・テストが必要となります。

(E):TOEFL[®]やTOEIC[®]、または本学での英語テストなど、出願・選抜にあたり英語(English)の検定・テストが必要となります。

面接で使用する言語は「入学後、学修を希望する主たる言語」により異なります。詳しくはP.04で確認してください。



芸術文化学群の審査方法について

AO入学者選抜(第1回、第2回)、公募制推薦入学者選抜はインターネット出願時に「実技型」・「作品審査型」または、「小論文型」のいずれかを選択してください。

選抜方式	専修	審査方式	芸文のみの主な出願書類	審査内容
AO (第1回、第2回) 公募	演劇・ダンス	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	演劇 [実技と面接] グループ構成で課題に沿った集団創作と発表。オーディション形式のグループ面接審査。動きやすい服装とシューズを持参すること。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
		ダンス		ダンス [実技と面接] 短い振り付けによる技術力審査。オーディション形式のグループ面接審査。着替え持参、シューズ不要。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)	
	音楽	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	声楽、ミュージカル(歌)、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器(撥弦楽器を含む)、パイプオルガンのいずれかを選び任意の一曲を演奏する。さらに面接を課す。大学側で用意する楽器はピアノ、コントラバス、ハープ、マリンバ、パイプオルガン。ほかの楽器は持参すること。 伴奏者の同伴、または伴奏としてのCD 持ち込み可。 また、楽器演奏ではなく作曲等の分野で実技を希望する者は、自身が作曲した音楽作品(5分程度)をCDに録音したもの、およびその楽譜を持参することで演奏審査に代えることができる。 実技審査と面接合わせて15分。
		小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
	ビジュアル・アーツ	作品審査型	「活動報告書(芸文版)」*1	試験当日、自分の制作した作品一点(美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメ等)を持参する。作品審査では、制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的工夫などについて3~5分のプレゼンテーションを行い、その後面接を行う。作品審査と面接合わせて15分。 なお、映像、アニメ作品等の収録時間は3分以内とし、再生用のPCは持ち込みとする。
小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)		
AO(地区)	演劇・ダンス 音楽 ビジュアル・アーツ	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
指定校				
留学生				
社会人				
編入*3	演劇、音楽 造形デザイン、映画			

※1 「活動報告書(芸文版)」は現在までの芸術に関する活動履歴を記載してください。

※2 「小論文」については、「芸術と社会」をテーマとして自分の考えを800字以内でまとめ、他の出願書類と一緒に提出してください。

※3 編入学者選抜は、※2の小論文に加え、試験日当日に「課題テーマ型の小論文」を課します。

[注意事項]

●志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合には事前に連絡します。

●面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。ただし、演劇・ダンス専修の「実技型」におけるグループ面接は受験者複数、面接担当者2人で実施します。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は筆記試験のみとなります。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は、第2志望の専修まで出願可能です。



グローバル・コミュニケーション学群の 面接方法について

GC学群では、語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。

面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は20分です。

面接では、志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。

「AO入学者選抜」「推薦入学者選抜」では、課題図書の内容についても、選んだ本が書かれている言語で質問をします。

○:面接で必ず使用する言語 △:面接で必要に応じて使用する言語

母語 ※1	入学後、学修を希望する主たる言語	面接で使用する言語			
		日本語	英語	中国語	備考
日本語	日本語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	英語	○	○	—	
	中国語	○	—	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	—	
	英語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	中国語	—	○	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

※1 「母語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

[注意事項]

●面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が母語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日・英・中のうち一つか二つの言語でも面接を行うことがあります。